ペトロ岐部司祭叙階400年

ローマ
エルサレム
ゴア
長崎

ローマまで歩いた不屈の人

旅に駆り立てた力は、
神と同胞に対する愛
ローマで司祭となり、
迫害に苦しむ
日本の教会のため
帰国、殉教―

1587年　豊後の国 国東半島の岐部に生まれる。少年時代は有馬のセミナリオで養成される。
1615年　マカオに追放。
1618年頃　マカオを出奔し、インドのゴア、パキスタン、イラン、イラク、ヨルダンなどを横断。
1620年　エルサレムに立ち寄った後、ローマに着。
　　11月15日 司祭叙階。イエズス会への入会。
1622年　リスボンで誓願、帰国の途に。
1630年　薩摩の坊津に上陸。リスボンを出帆してから、8年の歳月。潜伏活動を東北地方に移す。
1639年　仙台で捕縛。江戸に護送、取り調べを受け拷問、穴吊り（浅草待乳山聖天近くの明地）
1639年(日付不明)　腹を火で炙られ殺された。(52歳没)
2008年11月24日 ペトロ岐部と187殉教者 列福式

強靭な精神と司祭叙階の恵みをお与えくださった神の計らいを想い感謝をささげ、
ペトロ岐部と187殉教者が一日も早く聖人の列に加えられるように、祈りましょう。

日本カトリック司教協議会列聖推進委員会